

誰でも楽々散策を

ロックフェス前に 有志が木道づくり

今月下旬にロックフェスティバルが開かれる南魚沼湯沢町三国の苗場スキー場で五、六の両日、車いすの人でも散策が楽しめるようボランティアや地元住民による木道づくりが行われた。約百人の参加者は心を込めて板を並べていった。



湯沢・苗場 スキー場

木道は「インディペンデンスボードウォーク」と呼ばれ、車いすの人でも自力で自然散策を楽しめるように、と考えられた。縦二十センチ、横二センチの板を購入、それに絵やメッセージを描いて並べていく方式で、苗場では昨年春から設置がスタートした。

涼しい木陰の中で木道づくりに汗を流すボランティアは5日、湯沢町三国の苗場スキー場……

た。昨年夏のフジロックフェスティバルでは参加アーティストが板にメッセージを描いたり、観客が設置を手伝った。

この日は、フジロックフェスティバルを主催するスマッシュ（日高正博社長）の呼びかけで集まったボランティアらが作業した。フジロックフェスティバル会場内をつなぐ約八百メートルのうち、残る三百メートルを二十五日の開催までに開通させようと作業に励んだ。

参加者は墨汁や油性ペンで、板にハートや富士山など思い思いの絵やメッセージを描き、慎重に並べた。

日高社長（五十四）は「作業がきつくて首を上げると思っていたが、楽しむ気持ちでやってくれているので感謝している」と話していた。